

【2時限目テーマ：リデュース、リユースを進めるために、くらしの中でできる工夫について考える】

1. 本題材の目標

可燃ごみ・不燃ごみ・資源の量をできるだけ減らす工夫をグループワークで話し合い日常生活でも実践できるリデュース、リユースの行動に結びつける。

2. 準備・資料など

- ・グループワークシート（※巻末参照）
- ・宣言シート

3. 本時の展開

2限目	時間	内容	ポイント・気づき・学び
グループワーク	15分	<ul style="list-style-type: none"> ●グループメンバーと話し合い、分別したモノの再分類に挑戦する。分類は、 ①「なくても困らないモノ又は減らすことができるモノ」 ②「そのままの形でもう一度使えるモノ」 	<ul style="list-style-type: none"> ●正解を設定するのではなく、子どもたちの自由な発想で考えてもらう。
発表	15分	<ul style="list-style-type: none"> ●それぞれのグループで話し合った内容を発表する。 ●最終ポイントの発表 	<ul style="list-style-type: none"> ●アイデアを出した数だけ、ポイントを加算する。 ●おもしろいアイデアや発想を表彰するなど工夫する。
解説	10分	<ul style="list-style-type: none"> ●3Rの説明と優先順位の説明 ●リデュース、リユースの具体例紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ●グループワークで発表してもらった内容と3Rの言葉の意味をつなげる。 ●身近な事例を具体的に紹介することで、自分の生活とリデュース、リユースを重ねてイメージできるようにする。
まとめ	5分	<ul style="list-style-type: none"> ●ふりかえり ●自分ができること宣言 	<ul style="list-style-type: none"> ●グループワークで出されたアイデアを実践したことで、導入の際に泣いていた地球が笑顔になる。

■ 授業展開例についての補足説明

- ・1時限目に学んだ、リサイクル活動については、ある程度意識して実践している人も多いと思いますが、リデュース・リユースについてはまだあまり認識されていません。
- ・2時限目では、リデュース、リユースについて重点的に学ぶ時間とします。
- ・リデュース、リユースを実践する目的はごみも資源も元から減らすことであるため、グループワークでは子供たちの柔軟な発想でそのアイデアを出してもらいます。
- ・最初からリデュース・リユースという言葉を用いるのではなく、グループワークで出された子供たちのアイデアを、リデュースとリユースに結びつけて解説をします。

■ 使用ツール一覧

導入	泣いている地球のイラスト 資源、可燃ごみ、不燃ごみのイラスト
ゲーム	資源、可燃ごみ、不燃ごみのイラスト又は現物をグループごとに用意 各地域に合わせた分別品目シート
解説	可燃ごみの流れの説明 (運搬・焼却にエネルギーがかかる、焼却時にCO ₂ が発生する) 不燃ごみの流れの説明 (運搬にエネルギーがかかる、埋め立てに自然を破壊する) リサイクルの流れの説明 (運搬・粉砕・洗浄・再商品化にはエネルギーがかかる)
グループワーク	ワークシート
まとめ	笑顔の地球のイラスト やってみたいこと宣言シート

※「泣いている地球のイラスト」と「笑顔の地球のイラスト」は、A3サイズの紙に両面で印刷しておきます。